

## 事業者

- ・佐川急便株式会社
  - ・株式会社サッポロドラッグストア
  - ・株式会社PALTAC

## 事業概要

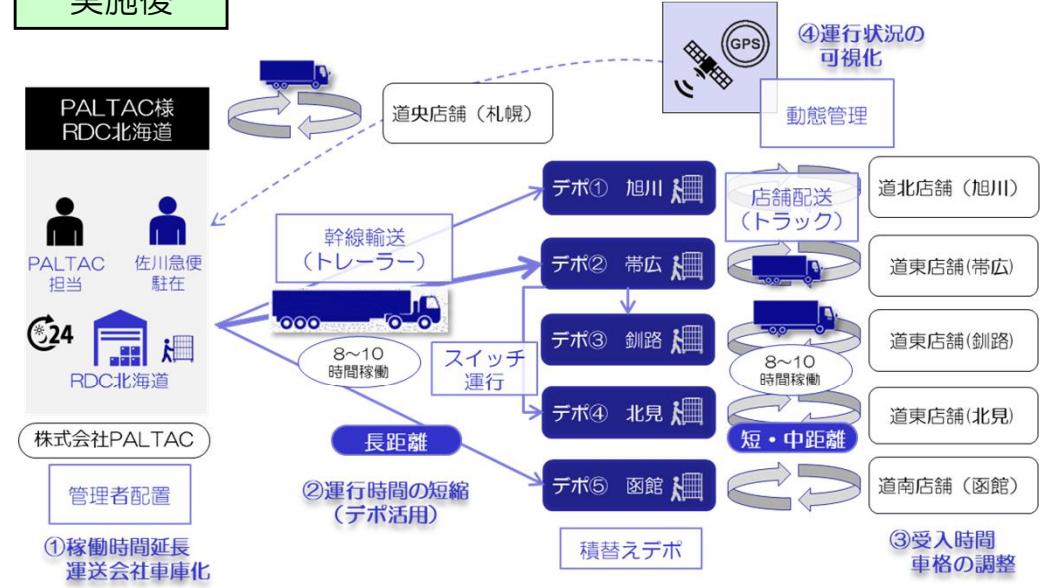
- ・佐川急便の宅配拠点をデポ活用した遠隔地店舗配送における効率の改善
  - ・PAL TAC拠点の稼働時間変更、車庫活用と動態管理端末を使用した運行見える化による適正な労務管理
  - ・店舗配送の効率改善に向けたサッポロドラッグストア店舗の受入時間・車格の調整

## 実施前



- ① 抱点稼働時間の制約や納品店舗の組合せにより、ドライバー業務について時間のムダ・業務負荷のムラが発生
  - ② 遠方の店舗でも殆どが中継無く配送しており長距離・長時間運行運転時間が長く配送出来る店舗が少ないので、低積載でも運行せざる得ない
  - ③ 改正物効法への対応が必要な中、委託関係やドライバーの運行実態把握が困難な状態

## 実施後



- ① センター稼働時間の変更と運送会社の車庫にすることで無駄な運行時間を最小化
  - ② 佐川急便営業所等をテボ拠点として活用。テボでの積替え、幹線とは別車で短・中距離配送し車両当たりの運行時間・拘束時間を短縮
  - ③ 店舗納品時間の調整、車格の大型化を行い店舗配送ルートを最適化
  - ④ 動態管理により、車両角のハリ・ハタの是正とハラを平進化

## 特徵

- ◆デポ拠点からの配送により車両の積載、ドライバーの運転距離・拘束時間を改善
  - ◆発地センターの稼働時間変更と車庫化により、制約条件を無くして運行業務に携わる時間を最大化
  - ◆納品する店舗側でも荷受け時間の緩和や納品車両の車格条件を緩和調整
  - ◆佐川手配の車両に動態管理端末を設置し、ムリ・ムダな運行を是正、車両毎の業務量のムラを平準化

## 效果

- ◆ CO<sub>2</sub>削減量：404.5t-CO<sub>2</sub>／年 (18.9%) 削減
  - ◆ トラック走行距離：643.4千km (25.7%) 短縮
  - ◆ トラック走行時間：12.2千時間 (22.5%) 短縮

## 事業者

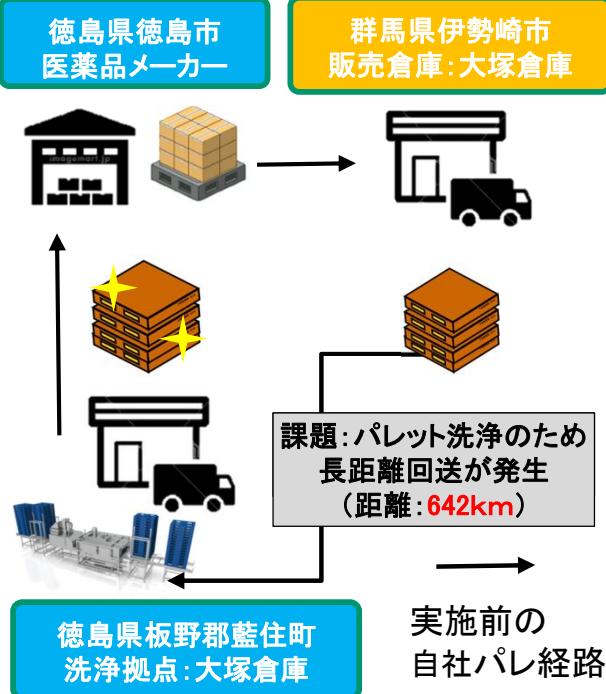
三甲パレットレンタル株式会社  
大塚倉庫株式会社  
三甲株式会社  
医薬品メーカー(10社)

## 事業概要

メーカー毎のパレット運用が一般的な医薬品業界では、その個別運用により物流現場に対して多大なる負荷を課している。安定した医薬品物流を維持・継続する上で大きなリスクとなる。当社は大塚倉庫と共同でパレットの統一化及び共同利用システムを活用することに合意し、メーカーの工場から医薬品卸までパレットで統一した作業工程を実現。当社パレットに搭載されたRFID(※2)・QRによりパレット個体での管理を実施。管理システム TRAX GOはパレットと積載商品の紐付による「事前出荷情報」の共有や、商品の生産から納品までの見える化にも活用されており、パレットに積まれて運ばれるのは、モノだけではなく、そこに紐づく“情報”的な活用が、医薬品物流全体の効率性と安全性を大きく高める。患者が安心して治療を受けられる医薬品物流網の強靭化を目指す。

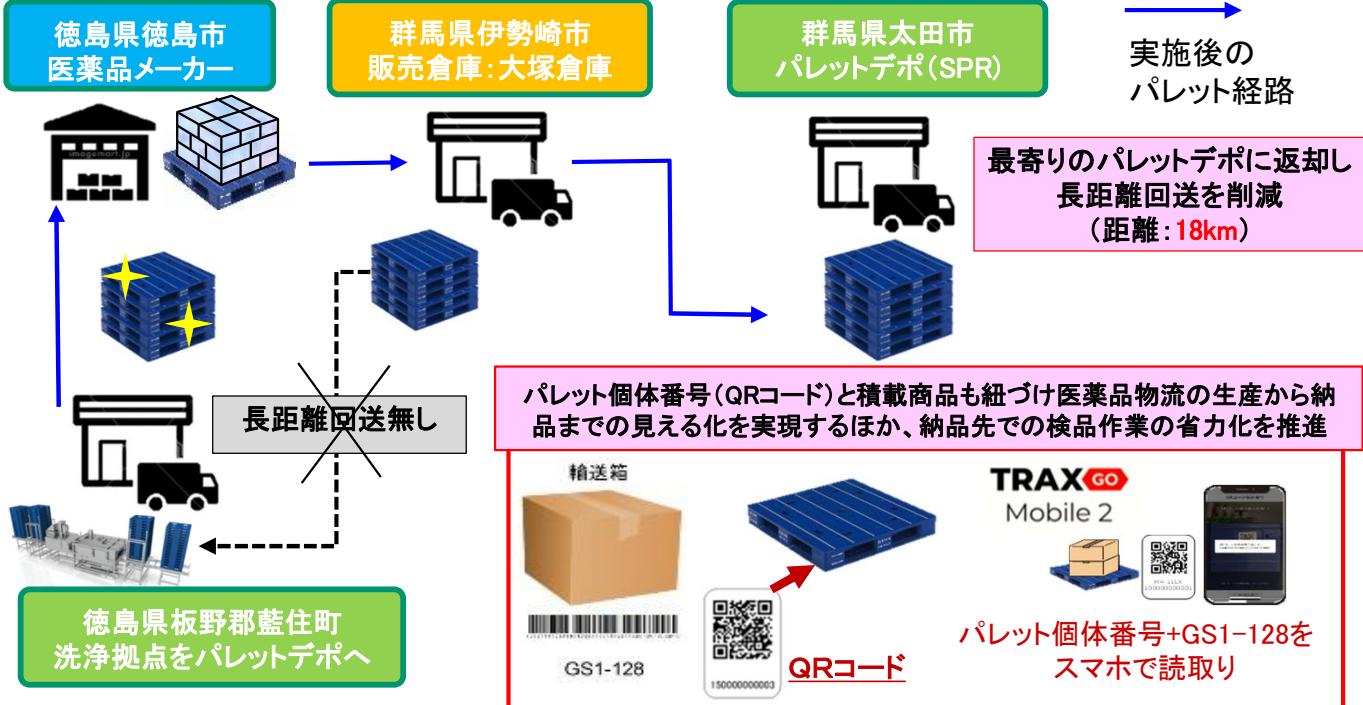
## 実施前

## 大塚倉庫の自社パレットで運用



## 実施後

## 三甲パレットレンタル(SPR)が医薬品業界での共通レンタルパレットスキームを提供



## 特徴

- ◆ 医薬品物流に関わる全ての作業者の負担軽減
- ◆ 超長距離輸送の解消によるCO<sub>2</sub>の大幅な削減
- ◆ デジタルを活用したサプライチェーン全体の効率化
- ◆ 役目を終えたパレットを廃棄せず、リサイクル原料で活用しサーキュラーエコノミーを実現。

## 効果

- ◆ CO<sub>2</sub>削減量: 116.9t-CO<sub>2</sub>/年 (97%削減)
  - ◆ 回送距離削減: 15.6万km削減
  - ◆ 運行時間削減: 1,750時間削減
- ※大塚倉庫の年間出荷数150万枚に適用した場合、17,909t-CO<sub>2</sub>/年の削減量となる

## 事業者

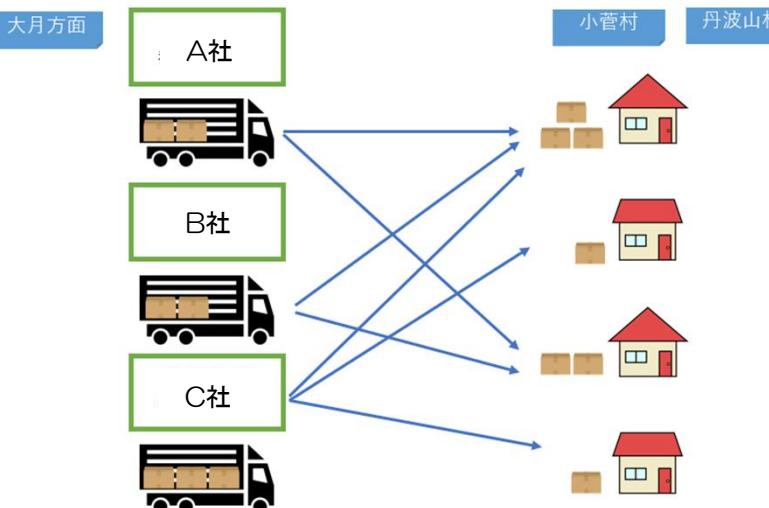
株式会社NEXT DELIVERY、山梨県  
小菅村、山梨県丹波山村、セイノーホールディングス株式会社

## 事業概要

- ・経済不合理地域における複数事業者による共同配送の実施
- ・買い物代行サービスとドローンを活用した生活支援の展開
- ・地域住民や女性人材を活用したラストマイル配送

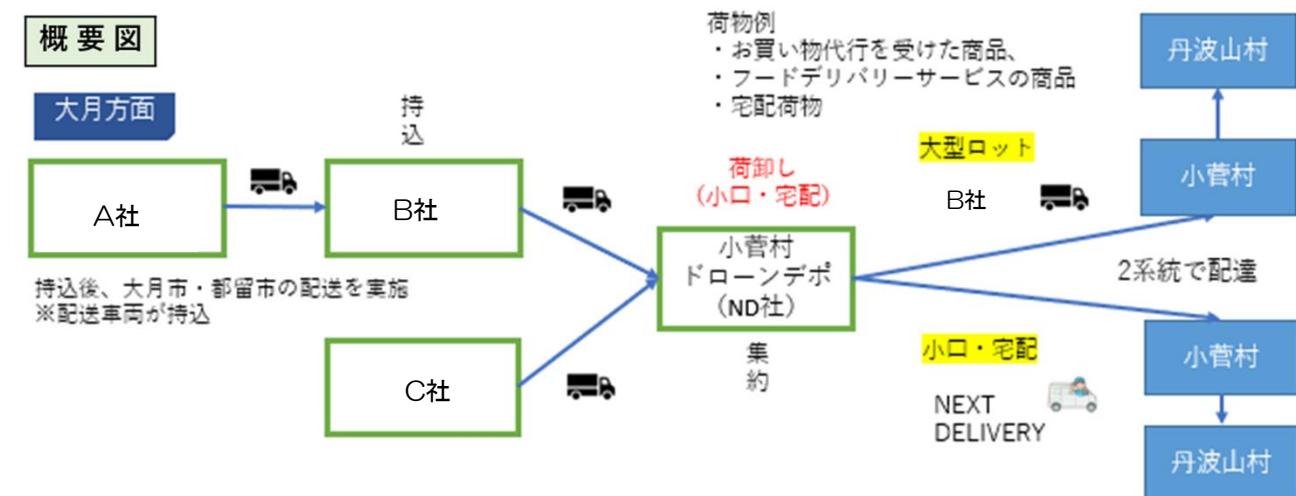
## 実施前

- ・配送各社がそれぞれの顧客に向けて配送を実施
- ・荷物量が少なく、経済不合理地域になっていた



## 実施後

- ・A社は、同市内の拠点があるB社へ荷物の受け渡し
- ・B社とC社は小菅村のドローンデポまで配送
- ・小菅村並びに丹波山村の荷物をNEXT DELIVERYが配送
- ・買い物代行サービスやフードデリバリーはドローンでの配送



## 特徴

- ◆過疎地域に配送の拠点を設け、各社の荷物を集約化し、単体では経済性では継続が困難の地域も、配送体制の維持を貢献
- ◆買い物代行サービス等の商品はドローンでの配送を活用し、環境負荷の削減
- ◆配送車両並びにドライバーの稼働時間削減に伴い、他業務へ注力が可能
- ◆女性の就業率が高く、物流業界へ業界未経験者的人材取込みが可能

## 効果

- ◆CO<sub>2</sub>削減量：9.6t-CO<sub>2</sub>／年 (32% 削減)
- ◆車両削減台数：480台／年(33% 削減)
- ◆ドライバー稼働時間：3,120時間／年(27% 削減)

令和7年度 グリーン物流パートナーシップ会議特別賞  
ビジネス（商）と環境（環）を両立させる持続可能な物流（物）



事業者

- ロジスティクスワールド株
- 生活協同組合コープさっぽろ
- イーパック株
- 北海道ロジサービス株
- (有)フレッシュカーゴ ■北海道酒類販売株

事業概要

本事業は、広大な北海道における輸送課題、特に長距離・長時間輸送に伴う「物流2024問題」「労働力不足」「コストの上昇」「環境負荷軽減」といった課題解決に取り組む。300以上の案件の中から、社会的使命として、東京～名古屋間に匹敵する長距離の石狩～釧路間のコースを改善。



300以上の案件から、社会的使命として  
距離が長く、頻度の高いコースの挑む！

石狩一釧路

312日

330Km



広大な北海道では、距離と走行時間が長い  
石狩一釧路は、東京一名古屋間と同等の距離

ビジネス（商）と環境（環）を両立させる持続可能な物流（物）の実現！  
「拘束時間削減」「脱炭素」、そして荷主への「コストメリット」という圧倒的な成果

特徴

◆サプライチェーン全体の最適化：

荷主と物流事業者が連携し、サプライチェーン全体での効率化とCO2削減

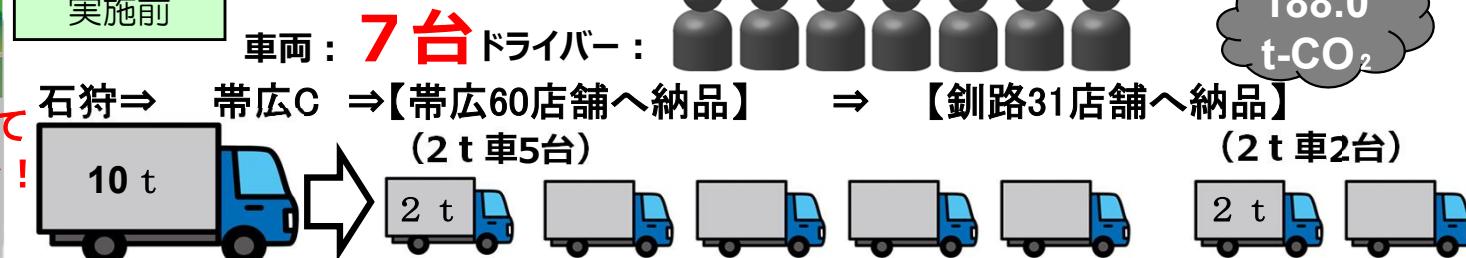
◆労働力不足対策と物流構造改革：

「物流2024年問題」に対応し、労働環境の改善と物流構造の改革を推進

◆強靭で持続可能な物流ネットワークの構築：

異なる種類の貨物（飲料と軽い包材）を混載することで積載率を向上。輸送モードを多様化するとともに、環境負荷（CO2）を大幅に低減。

実施前



実施後



荷台のスペースを有効活用（軽量物の上部混載）で、大幅な減車に成功

商 環 物

効果

- CO2削減量：167.60 t-CO2／年 (89% 削減)
- 実車率：+ 50ポイント (50%→100%) 相対100
- 積載率：+ 50ポイント (40%→90%) 相対125
- 拘束時間：14,976時間／年 削減